

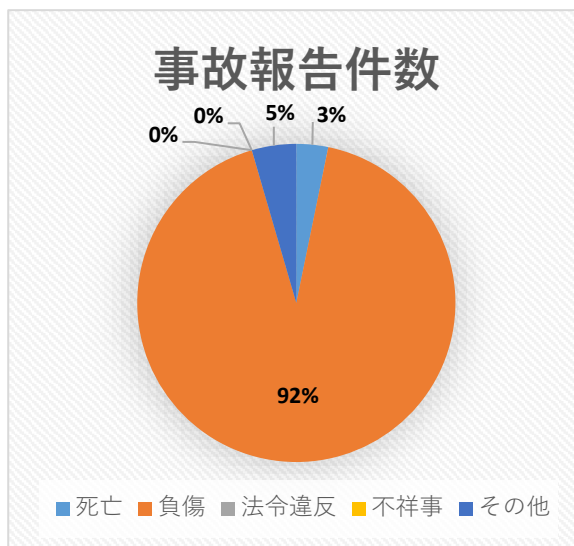
介護保険事業者事故・不祥事案及び感染症等の状況について  
 ≪令和4年度報告分≫

弘前市介護福祉課

1. 報告件数

(1) 事故：155件

①利用者の死亡	5件
うち飲食中の窒息	1件
その他	4件
②利用者の負傷	143件
うち骨折等の重傷	120件
うち打撲・擦傷等の軽傷	22件
その他	1件
③職員の法令違反	0件
④不祥事	0件
⑤その他	7件



※⑤その他の内容：急性アルコール中毒症、無断外出、チューブ抜去、薬の誤飲など

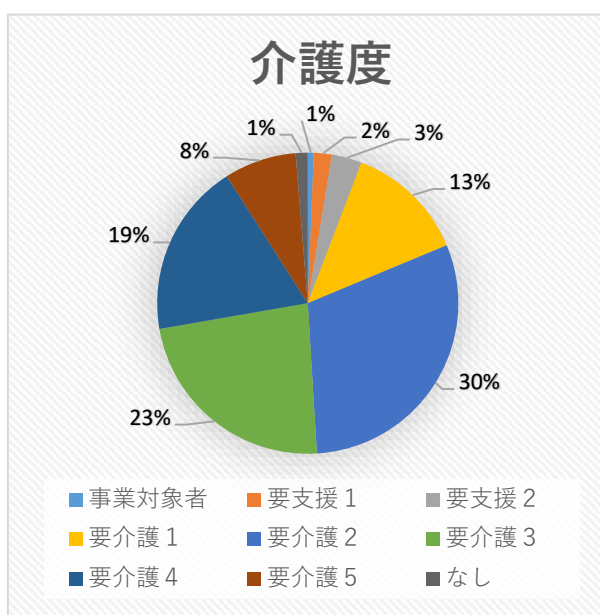
(2) 感染症等：118件／581人

①インフルエンザ	0件／0人
②ノロウイルス	0件／0人
③食中毒	0件／0人
④結核	0件／0人
⑤その他	118件／581人

※⑤その他の内訳：新型コロナウイルス感染症

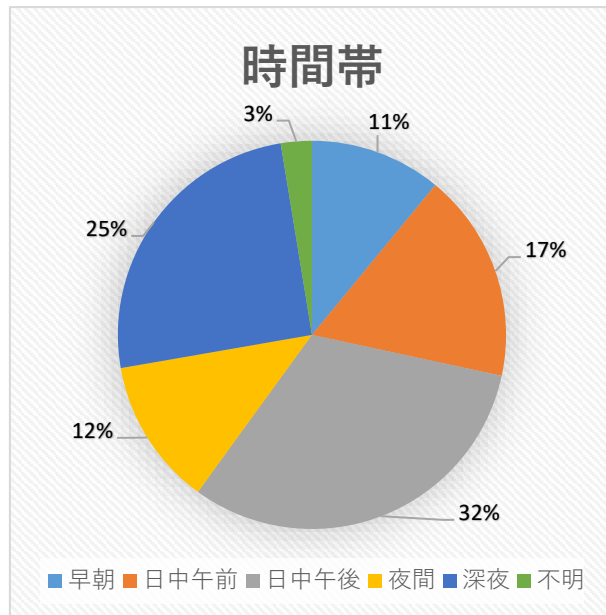
2. 事故対象者の要介護度

事業対象者	1人
要支援1	3人
要支援2	5人
要介護1	20人
要介護2	47人
要介護3	36人
要介護4	29人
要介護5	12人
介護度なし	2人



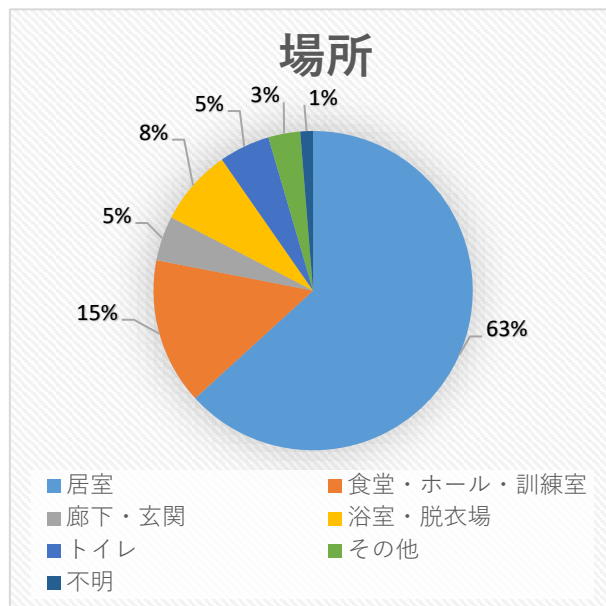
### 3. 事故の発生時間帯

早朝（6～8時）	17件
日中午前（8～12時）	27件
日中午後（12～18時）	49件
夜間（18～22時）	19件
深夜（22～6時）	39件
不明	4件



### 4. 事故の発生場所

居室	98件
食堂・ホール・訓練室	23件
廊下・玄関	7件
浴室・脱衣場	12件
トイレ	8件
その他（自宅・外出先等）	5件
不明	2件



### 5. 事故の内容・原因の事例

- ・利用者が夕食後、職員に誘導されて居室内のトイレへ入った。職員が利用者に対し、終わったかどうか確認の声掛けをしたところ、本人より「まだ終わらない」と返答があった。職員が一度退室して他の利用者の臥床援助を行い、約3分後居室に戻ると利用者がトイレの床に倒れていた。
- ・利用者が夜、自室のタンスを運び出そうとしていたり、「夢を見ている」と話すなど不穏な状態であったため一時的に別室へ移動させた。深夜に「ドスン」と音が響き、在室確認すると姿が無く、園内を探すが不在。約1時間後、隣接する施設の職員、新聞配達員、本人を見つけた方に連れられて施設へ戻った。利用者には幻聴や幻覚がみられ、衝動的に行動したとみられる。

- ・職員がごみ捨てのため居室を訪問すると、利用者がベッド上に倒れていた。利用者は唾液が泡状になって口より垂れており声掛けにも反応が見られなかった。職員がコールを押して看護師へ報告。居室内を確認すると、消毒用アルコールスプレーのボトルの蓋が開いており、中身が空になっていた。

## 6. 対応や再発防止策の事例

- ・居室にて臥床している時の見守りセンサーを使用する、トイレ介助中はその場を離れることなく、トイレの外で待機する。
- ・ストッパーが無い各箇所へ取り付けし、緩みを定期的を確認する。併せてセンサーマットの使用者の見直し、排泄介助の順番などを検討し、見守りが必要な方への対応について、業務改善を含めた検討をする。
- ・認知症高齢者の居室内には消毒液を置かない。

### 事業者の皆様へのお願い

事故・感染症等の発生時には、適切な対応の後、速やかに第一報をいただけますよう、よろしくお願いいたします。